

よろこび

日蓮宗 顕聖会

本山 妙國寺

長春山 本誓寺

『よろこび』十四

貫首 齊藤 日軌

幼稚園の子供たちも暖かい光を受けて笑顔を輝かす。春の太陽はぼかぼか心も体も温かくなり隣りまわりの花々も一斉に咲き出します。富良野の桜は五月連休のエネルギーを本としています。植物は太陽光を吸収してそのエネルギーを使い、光合成により大気中の二酸化炭素と根から吸収した水で、酸素と糖類を作り出し、糖分によって生存することができず。本来の太陽さん、ありがとさんですね。朝太陽がでたら太陽さん

に手を合わせて南無妙法蓮華經と唱えましょう。建長(けんちょう)五年(一千二百五十三年)四月二十八日、日蓮聖人は、清澄山(きよすみさん)の旭が森(あさひがもり)で、昇る朝陽に向かつてはじめて「南無妙法蓮華經」のお題目を唱え、法華經を広めることを宣言されました。



みおしえ

妙法蓮華經の妙法蓮華が示すのは、大宇宙の本仏といえます。この御本仏は宇宙の中心に燦然と輝く光エネルギーです。この霊界の太陽が私達の世界で空に輝く太陽として現れて、銀河系や大宇宙の星々までの宇宙法界を顕現しています。太陽、物質エネルギーを現象界の太陽に依存して生存してはいます。妙法蓮華は私達の心と空に輝く太陽です。私達は、この本仏である太陽から産まれてきた太陽の子です。その意味で私達は地上の太陽の子である妙法蓮華です。現代では私達の生活は、電力に大いに依存しています。各家庭の暖房、冷房、調理、照明の光など全てと言っているほど電力に依存する家庭が大半です。二十一年三月十一日の東北地方太平洋沖地震で福島第一原子力発電所の事故により、送電がストップされました。私も暖房も照明も無く寒さの中でろうそくで生活しました。電気の無い生活は、現代では考えられませんが、いややそれ以上に私達の生活生存はそれと同様に、いややそれ以上にある本仏に依存して妙法蓮華という大宇宙の発電所である本仏に依存しているのです。

心の言葉

南無妙法蓮華經と唱え、本仏の光を頂き、明るい生活をしましょう。

